

事業名	大分類						
	小分類	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金					
事業開始年度		平成 22 年度					
事業概要	事業の目的	児童の心身の発達を支援することを目的に、私立幼稚園の健全で安定的な運営を支援する。 特に、公立保育園との授業料等の格差を解消し、保護者の負担軽減を図ると共に私立幼稚園の入園児童の増加に繋げていく。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内の未就学児童が市内私立幼稚園に入園した場合に、私立と公立の授業料の差額分(9,700円/月)と施設整備分(2,000円/月)を保護者に対して補助する。但し、就園奨励費の補助残分を限度とする。					
	実施内容と事業費内訳	・負担軽減補助事業(授業料分) : 11,633 私立授業料(16,000円/月) - 公立授業料(6,300円/月) = 9,700円 公私立差額(9,700円) - 就園奨励費補助(6,000円) = 3,700円 事業費 = 3,700円 × 12月 × 262人 ・負担軽減補助事業(施設整備分) : 6,288 事業費 = 2,000円 × 12月 × 262人					
	事業に係る事務量	補助金申請案内・受付・決定・交付・実績等					
							述べ 0.2 人数
事業費及び 財源内訳 (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	————	————	15,895	18,098	17,921	17,921
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
	一般財源	0	0	15,895	18,098	17,921	17,921
「その他」財源の内訳		当事業は、その他財源はないが、別事業の幼稚園授業料の変更により事業費、一般財源共に影響がある					
近隣市町の状況等		・公立幼稚園の3歳児クラスの待機児童対策として、本事業により私立幼稚園の入園児童数が増えていることから、一定の効果がみられる。					

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。
 記載しきれない場合は、適宜別紙としてください。
 できるだけ事業内容を補足する資料を提出してください。